

入場方法

入場無料

うみコンのご入場には、Webからの事前登録が便利です。
事前登録の上、ご来場いただきますと、スムーズにご入場できます。

交通アクセス



- みなとみらい線「日本大通り駅」下車徒歩約7分(3番出口)
- 横浜市営地下鉄/JR「関内駅」下車徒歩約15分
- 市営バス「日本大通り駅県庁前」下車徒歩約5分
- 市営バス「大さん橋」下車徒歩約3分
- 首都高速横羽線 横浜公園ランプから約3分
- 首都高速湾岸線 新山下ランプから約10分

駐車場のご案内

普通乗用車が最大で約400台まで駐車可能な駐車場がございます。
平日は24時間利用して最大1,500円。
ご利用に関する詳細は、横浜港大さん橋国際客船ターミナルHP
の駐車場案内ページをご確認ください。



同 | 時 | 開 | 催 |

ブルーアースサイエンス・テク2018

1.16 [tue]・17 [wed]

海洋研究開発機構(JAMSTEC)が所有する研究船及び深海調査システムを利用した研究成果を発表し、研究分野の枠を越えた情報交換を行う場を提供するとともに、研究機関・大学・行政機関・企業と連携した海洋産業振興に資する連絡・交流の機会創出を目的に開催します。

第6回ブルーカーボン・シンポジウムin横浜

1.17 [wed]

「海洋」を舞台とした温暖化対策プロジェクト「横浜ブルーカーボン」の取組事例等を紹介し、あわせて、「横浜ブルーカーボン・オフセット制度証書授与式」を行います。

出展者一覧

IHI/青葉電子/いであ/宇津木計器/NTTDコモ/NPO法人長崎海洋産業クラスター形成推進協議会/オーケーイーサービス/OCEAN SPIRAL/海洋研究開発機構/海洋電子/神奈川大学/関東運輸局/関東地方整備局/キュー・アイ/鈹研工業/JFEスチール/次世代センサ協議会/海洋計測センサ技術研究会/新日鉄住金エンジニアリング/水産研究・教育機構/水中ドローン社/スコットランド国際開発庁/千代田化工建設/鶴見精機/東亜建設工業/東京海洋大学/東京大学生産技術研究所/東京大学大学院/日揮/ニッスイマリン工業/日本水産/日本エス・ユー・エス/日本海洋事業/NORTEKジャパン/古河電気工業/マリン・ワーク・ジャパン/横浜国立大学/横浜市/横浜市立大学/横浜・八景島シーパラダイス など(順不同)

主催: 海洋都市横浜うみ協議会/横浜市/
海洋研究開発機構(JAMSTEC)/海と産業革新コンベンション実行委員会
協賛: 日本海洋事業/日本マントル・クエスト/ニッスイマリン工業/NEC
協力: 横浜企業経営支援財団(IDEC)
協議会・実行委員会の構成企業・団体: 海洋研究開発機構(JAMSTEC)/水産研究・教育機構/海上・港湾・航空技術研究所(海上技術安全研究所・港湾空港技術研究所)/海技教育機構(JMETS)/帆船日本丸記念財団/東京海洋大学/東京大学生産技術研究所/横浜国立大学/横浜市立大学/エンジニアリング協会/海洋産業研究会/日本船用工業会/日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)/横浜港振興協会/IHI/神奈川新聞社/千代田化工建設/東亜建設工業/日揮/日鉄住金物産/日本政策投資銀行/横浜港埠頭/横浜八景島/日本郵船/三菱重工/内閣府総合海洋政策推進事務局/国土交通省関東地方整備局/国土交通省関東運輸局/横浜市(順不同)

お問い合わせ: うみコン実行委員会事務局 Tel. 045-663-9151

うみコン 2018

海と産業革新 コンベンション

Ocean&Business Innovation Convention

ブルーアースとビジネスの融合

詳しいプログラムは <http://umi-con.com>

事前にご登録いただくとスムーズにご入場できます。



日時 2018
1.16 [tue]・17 [wed]

入場
無料

場所 大さん橋ホール
(横浜港大さん橋国際客船ターミナル内)

INVITATION



うみコンとは

最新の技術や情報を共有・融合し、
海洋産業の振興・活性化につなげるため、
研究やビジネスに携わる人が、一堂に会する機会をつくりたい—
そうした思いから、産官学の連携組織「海洋都市横浜うみ協議会」
によって企画された新たなコンベンションです。
海洋に関する企業・研究機関・大学などが集積する横浜に、
技術・研究成果・情報・製品が集結します。
さまざまな関係者との交流やビジネスのきっかけ作り、
ご来場ください。



企業・研究機関等ブース

水産、養殖、海洋資源、海洋観測、ロボティクス、再生可能エネルギー、IoT、レジャー等をテーマに、企業や研究機関、大学等がブース出展します。



出展者

IHI/いであ/NTTドコモ/NPO法人長崎海洋産業クラスター形成推進協議会/OCEAN SPIRAL/海洋研究開発機構/海洋電子/関東地方整備局/キュー・アイ/鉾研工業/JFEスチール/水産研究・教育機構/水中ドローン社/鶴見精機/東京海洋大学/東京大学生産技術研究所/ニッスイマリン工業/日本海洋事業/NORTEKジャパン/古河電気工業/マリン・ワーク・ジャパン/横浜市/横浜国立大学

メインセッション

海洋に関する政策・研究・技術開発などの今後の展望について、キーパーソンが登壇します。

		16日(火)	17日(水)
午前	10:30~	オープニングセレモニー 次期海洋基本計画について(仮) 内閣府総合海洋政策推進事務局 局長 羽尾 一郎 様 SDGsと海洋問題の国際展開 笹川平和財団 海洋研究調査部長 古川 恵太 様	海中活動の新たなパラダイム ~海のどこでもドア~ 九州工業大学 社会ロボット具現化センター センター長 浦 環 様
	12:30~	JAMSTEC理事長と企業トップ対談 海と人との関わり 現在から未来へ 海洋研究開発機構 理事長 平朝彦 様 他 日本が次世代の海洋開発大国となるために ~海洋開発技術イノベーションに 向けた新たな取組~(仮) 日本財団 常務理事 海野 光行 様 シンポジウム 「海から拓く情報科学の世界(仮)」 海洋研究開発機構 地球情報基盤センター 他	地球最深への挑戦 海洋研究開発機構 海洋生命理工学研究開発センター 他 第6回ブルーカーボン・シンポジウム in横浜 横浜市温暖化対策統括本部
午後			

トピックセッション

企業・研究機関・大学などのプレゼンターが、テーマごとに研究成果、技術、取組を紹介し、交流のきっかけをつくれます。

16日(火)

トピックセッションA

●ブルーアースサイエンス・テク発表会

海洋研究開発機構 海洋工学センター/産業技術総合研究所/横浜国立大学大学院/日本大学

発表分野 物質循環2件、海洋底ダイナミクス2件、海洋・気候ダイナミクス1件、
基盤技術開発1件、資源2件、運航1件 計9件

●ブルーアースサイエンス・テク表彰式

トピックセッションB

- 東亜建設工業「技術研究開発センターの研究設備と水中施工技術(仮)」
- OCEAN SPIRAL「海中バルーン、海中価値化プロジェクト。すべての人を海中世界へ。(仮)」
- 水中ドローン社「水中インターネット ~水中ドローンのための超スマート化技術~」
- いであ「いであの水の中可視化技術の御紹介」
- 鉾研工業「多点式ROV搭載型コアリング装置」
- 東京大学大学院 教授 尾崎 雅彦 様「海洋利用とCCS(仮)」
- 日本海洋事業 ●NORTEKジャパン
- オーケーイーサービス ●スコットランド国際開発庁

17日(水)

トピックセッションA

- 新エネルギー・産業技術総合開発機構 新エネルギー部風力海洋グループ統括調査員 伊藤 正治 様
「NEDOにおける海洋再生可能エネルギーの取組について」
- IHI「海流発電システムの開発~黒潮海域での発電実証試験~」
- ブルーアースサイエンス・テク発表会

海洋研究開発機構 海洋工学センター/島根大学大学院/横浜国立大学大学院/東京大学大気海洋研究所

発表分野 海洋・気候ダイナミクス1件、物質循環2件、海洋生態系ダイナミクス6件 計9件

トピックセッションB

- 横浜国立大学「大学と八千代エンジニアリング(株)が創る海中デザイン技術」
- 横浜・八景島シーパラダイス/横浜市温暖化対策統括本部
「横浜ブルーカーボン事業と人工魚礁による海の環境改善の取組」
- 関東運輸局/日本エス・ユー・エス「海洋環境保全への取組(仮)」
- 海洋研究開発機構/横浜国立大学 他
「海底資源開発と環境影響評価(仮)」
- 新日鉄住金エンジニアリング/日本水産「大規模沖合養殖システムの実現に向けて」
- 水産研究・教育機構「ICTによる水産業の活性化」

ポスター発表

研究成果や技術開発を紹介したポスターを展示。ポスターセッションでは研究者と直接、コミュニケーションを図ることができます。

ブルーアースサイエンス・テク

16日(火) 45件 | 物質循環、海洋・気候ダイナミクス、海洋生態系ダイナミクス、
海洋底ダイナミクス、基盤技術開発、広報、資源 他

17日(水) 39件 | 物質循環、海洋・気候ダイナミクス、海洋生態系ダイナミクス、
海洋底ダイナミクス、基盤技術開発 他

ポスターセッション:両日とも11:30~13:00
(展示ポスター前で研究者が説明します。)

- 海洋研究開発機構 計約30件
・地球深部探査センター ・海洋工学センター ・イノベーション・事業推進部
- 千代田化工建設「千代田の海洋資源開発プロジェクトへの取組(仮)」
- 青葉電子「海のIoTシステム構築事例の技術展示」
- オーケーイーサービス「海洋土木関係の装置」
- 神奈川大学「水中映像取得装置用の音響レンズの設計と開発」
- 日揮 ●宇津木計器 ●新日鉄住金エンジニアリング
- 次世代センサ協議会・海洋計測センサ技術研究会 ●スコットランド国際開発庁



船舶一般公開・実機等 展示

海洋研究開発機構 学術研究船「白鳳丸」

国際総トン数3,991トン、全長100.0mの大型研究船で10室の研究室、高性能研究設備を装備し、極海を含めた世界の海を舞台として、長期間の多目的航海を実施している「白鳳丸」を乗船見学できます。

また、「かいわい」「みらい」模型展示他、海洋調査に使用した実機を展示予定。



白鳳丸